

## 一宮市制 100 周年記念事業準備委員会設立総会・第 1 回会議 会議録（概要）

会 議 名	一宮市制施行 100 周年記念事業準備委員会設立総会・第 1 回会議
開 催 日 時	令和元年 5 月 29 日（水） 16：30～17：30
開 催 場 所	一宮市役所 本庁舎 6 階 特別会議室
出席委員氏名	粟野委員、牛田委員、太田委員、北川委員、小島委員、豊島委員、 中野委員、星野委員、眞野委員、森委員、吉田委員 計 11 名
欠席委員氏名	安藤委員 計 1 名
出席した市職員	総合政策部長、総合政策部次長、100 周年記念事業推進室長、 課長補佐、主査 計 5 名
傍 聴 者	計 2 名
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 市長あいさつ</li> <li>3. 設立及び会則について</li> <li>4. 委員の委嘱について</li> <li>5. 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「「いちのみや市 100 周年」記念事業 基本方針（案）」について</li> </ul> </li> <li>6. その他</li> <li>7. 閉会</li> </ol>
<b>会 議 内 容</b>	
事務局（次長）	<p><b>1. 開会</b></p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、「一宮市制施行 100 周年記念事業 準備委員会 設立総会ならびに第 1 回会議」を開会いたします。</p>
事務局（次長）	<p><b>2 市長あいさつ</b></p> <p>開会にあたりまして、中野正康 一宮市長から、ごあいさつを申し上げます。</p>
中野市長	<p>今日はお忙しい皆さまにおかれましては、100 周年記念事業準備委員会にお集まりいただきまして、本当に感謝申し上げます。</p> <p>2 年後の 2021 年に一宮市制施行 100 周年を迎えます。私から 100 周年を迎えるにあたりまして、3 つの考えを申し上げます。</p> <p>一つ目は、花火にしたくない、一過性のものにしたくないという思いがございます。せっかくの 100 周年という節目ですので、次の 100 年にもつながるような、中身のある事業を進めていきたいという思いです。</p>

	<p>二つ目としまして、一宮市は 2021 年に中核市に移行して、愛知県から保健所などの多くの事業を引き受けて、より市民の皆さまの身近なところで多くの責任を担うこととなります。そのなかで、保健・医療・福祉・衛生ということで、健康というひとつのキーワードがあるのではないかと考えております。後ほど基本方針の説明の中でも申し上げますが、芸術・文化に関する活動なども、すべての基本はまず健康であることと思っておりますので、健康ということ 키워ドとして進めていきたいという想いです。</p> <p>三つ目として、市民参加ということで、できれば新しい時代に則した多様性のある市民参加を実現したいという想いがあります。従来から一宮市では連区や町内会・地域づくり協議会や、その他にも N P O などのいろいろな形で市民参加が行われておりますが、新しい流れとして、企業の社会的貢献ということで、利潤を追求しながらもまちづくりに貢献することを頑張っておられる企業もありますので、そのことも含めて多様性のある市民参加を進めたいと思っております。</p> <p>少し長くなりましたが、今後これだけのメンバーが一同に会することはなかなか無いと思っておりますので、今回は皆さまの生のご意見を頂戴したいと思っております。事務局からの説明はできるだけ短くして、皆さまからのご意見を頂戴する時間を設ける予定をしておりますので、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。以上、私からのごあいさつとさせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局（次長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、お手元の次第 3、一宮市制施行 100 周年記念事業準備委員会の設立及び会則につきまして、100 周年記念事業推進室長からご説明いたします。</p>
	<p><b>3. 設立及び会則について</b></p>
事務局（室長）	<p>&lt;資料 1 に基づき説明&gt;</p>
事務局（次長）	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問がございましたらお願ひいたします。</p> <p>（質問なし）</p>
事務局（次長）	<p>それでは、ここからの進行は議長である中野市長にお願ひしたいと思ひます。中野市長、よろしくお願ひします。</p>

<p>中野会長</p>	<p><b>4. 委員の委嘱について</b></p> <p>議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。 先ほどの事務局の説明のとおり、準備委員会が設立されましたので、副会長の委嘱を行いたいと思います。</p> <p>規程によりますと、副会長は委員の中から会長が委嘱することとなっておりますので、一宮市議会 議長 太田文人様、一宮商工会議所 会頭 豊島半七様のお二方に委嘱させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>中野会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、太田様と豊島様のお二方に副会長をお願いしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、次第5にあります「いちのみや市100周年」記念事業基本方針(案)」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局(室長)</p>	<p><b>5. 「いちのみや市100周年」記念事業基本方針(案)について</b></p> <p>&lt;資料3に基づき説明&gt;</p>
<p>中野会長</p>	<p>ただいまの説明で、ご意見やご質問はありますでしょうか。</p>
<p>豊島副会長</p>	<p>実態としては、専門委員会がいろいろなことを検討して、私たちは追認するという形なのでしょうか。</p>
<p>事務局(室長)</p>	<p>仰ったとおり、専門委員会で実際に活動する皆さまのご意見などをいただいたものにつきまして、準備委員会でご検討いただくことになると思います。</p>
<p>豊島副会長</p>	<p>専門委員会はいくつ作るのでしょうか。</p>
<p>事務局(室長)</p>	<p>今のところ、広報関係や事業実施関係など、複数、2つから3つを想定しております。</p>
<p>中野会長</p>	<p>事務局として、準備委員会や来年度以降の実行委員会の開催頻度は、どれくらいを想定していますか。</p>

事務局（室長）	<p>重要事項について、必要に応じてお集まりいただく形を想定しております。それ以外につきましては、書面による表決でご回答をいただければと思っております。今年度につきましては、お集まりいただくのは今回のみの予定で、今後のキャッチフレーズやロゴマークの決定につきましては、市で決定したものを報告させていただく形を予定しております。来年度の実行委員会に移るときに、一度お集まりいただき、それまでの経過報告や記念事業などの事業計画をご検討・ご承認いただくことを予定しております。</p>
中野会長	<p>一同に会することが難しかったとしても、事務局が個別に委員を訪問してご意見を伺うこともできると思いますので、柔軟に皆さまの意見を聞くようにしてください。</p>
中野会長	<p>それでは、ご質問も尽きたようですので、お諮りします。 「いちのみや市 100 周年」記念事業基本方針につきまして、原案のとおり承認することで、ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p>
中野会長	<p>ありがとうございます。 それでは、「いちのみや市 100 周年」記念事業基本方針は、原案のとおり承認とさせていただきます。</p>
中野会長	<p><b>6. その他</b></p> <p>それでは、ここからはせつかくの機会でありますので、100 周年記念事業に向けた皆さまのお考えやご意見をお聞かせいただければと思います。五十音順で座っていただいておりますので、栗野委員からお願いいたします。</p>
栗野委員	<p>いちい信用金庫の栗野でございます。この委員会に参加するという ことで、事前にいろいろ調べて参りました。私どもは一宮市制施行の 15 年目、昭和 11 年に一宮市民信用組合として発足しました。一宮市が 100 周年の年は、85 周年にあたります。発足にあたっては、当時の市 議会議員や市の商工関連部署が中心となって発足されました。定かでは ありませんが、私も入庫当時に地元の方から、当時の組合の事務所 は市役所の中にあつたと聞いております。現在、平成 15 年の 3 金庫合 併を経て、営業店舗は 49 店舗、一宮市内には出張所を含めまして 18 店舗でございます。一宮市とは、平成 22 年には一宮市総合体育館のネー</p>

	<p>ミングライツ契約、平成 27 年には地方創生に係る包括連携協定の締結など、いろいろな協力をさせていただきました。また、地域貢献活動などでも非常に古くから大変深い関係があると認識しております。令和 3 年の市制施行 100 周年記念事業におきましては、市長のお話にもありましたとおり、単なるイベントで終わらせるのではなく、地域産業の活性化や今後の市の発展を見据えた工夫が必要なのではないかと思えます。そういった点で、私どもも金庫を挙げてご協力をさせていただきたいと考えております。この 100 周年事業の成功を収められるよう、委員として頑張りたいと思っております。</p>
中野会長	牛田委員、お願いします。
牛田委員	<p>愛知西農協の牛田でございます。よろしく申し上げます。一宮市の 138（いちのみや）は、逆から読むと 831（やさい）になるわけですし、野菜を年間 100kg 食べる運動をしたいと考えております。1 日あたり 280g になると思いますが、厚生労働省が示している野菜の摂取量は 1 日 350g です。日本の平均が約 270g だそうですが、それを少しでも増やすことができればと思っております。</p>
中野会長	太田委員、お願いします。
太田副会長	<p>一宮市議会議長の太田でございます。今日はこのような会に呼んでいただきましてありがとうございます。議会の方も 38 名のそれぞれの個性を持つ議員がおります。いろいろな議論をしながら、100 周年に向けて良いものを作っていきたいと思えます。先ほどの市長の話のとおり、100 年 200 年とつながるものが残せたらとも考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
中野会長	次の委員さんに移る前に、昔の写真の説明をお願いします。
事務局（室長）	<会場に展示した大正 10 年の一宮市役所及び昭和 45 年～50 年当時の一宮市内の写真について説明>
中野会長	それでは、北川委員お願いします。
北川委員	<p>地域づくり協議会連絡会会長の北川でございます。どうぞよろしく申し上げます。市長に今年初めにお会いしたときに、100 周年記念事業を実施するにあたって、ぜひ市民の皆さまからいろんなアイデアを、という話がありました。その後すぐの地域づくり協議会役員会のフリ</p>

	<p>一トーキングの中で、記念事業としてイベント的なものも必要ですが、将来を見越して継続的に実施する事業も必要であるという考え方はいかがか、といった話がありました。イベント的なことは、それぞれ皆さまがこれから検討していただけるだろうと思っておりますので、私たちは若い世代への贈り物として、30年・50年・100年先の人材づくりに寄与するような、何年か先に花を咲かせる・将来にわたって人を育てるといった先行投資するような事業ができないだろうかということを中心に大きな柱として議論をしておりました。今結果が出ないからと言って予算を削るのではなく、若い世代に対して将来に向けて継続的に投資をする事業を行うことによって、一宮市からノーベル賞を、ということもあるかもしれません。今後も地域づくり協議会の役員の方々と議論を重ねながら、この事業に貢献して参りたいと思います。</p>
中野会長	<p>小島委員、お願いします。</p>
小島委員	<p>私は一宮市芸術文化協会の会長をさせていただいております。一宮市芸術文化協会は、文学部・美術部・音楽部・芸能部・社会文化部という5つの部門から成っております。今までは各自で活動しておりますが、100周年ではそれらのグループが一緒に集まって、一宮市にこんな芸術があるということを知っていただけたらと思っております。会員の皆さんからは、去年あたりから100周年に向けた今回のような会が早くできないかという話がありました。予算などの都合でどこまでできるかわかりませんが、最大限に実力を発揮していけたらと思っております。</p>
中野会長	<p>豊島委員、お願いします。</p>
豊島副会長	<p>会頭の豊島です。一宮商工会議所も市と同じ年の11月に100周年を迎えます。一緒にできることがあれば一緒にやった方が効率的であるし、お金の使い方も良いのかなと思います。若い人たちが、よりこのまちを愛せるようなまちづくりの活動を、100周年をひとつの契機としてより加速するものになればとも思います。次世代のことが中心になってくると思うので、若い人や学生さんたちの声も聞けるような、構成も考えていただけるよう、専門委員会の人選もお願いしたいと思います。</p>
中野会長	<p>今の豊島委員の問題提起について、事務局どうですか。対応できるようにしていますか。</p>

事務局（室長）	<p>市民委員につきましては、少なくとも1名を30歳以下の方という条件で募集させていただいています。また、お問い合わせも若い方からいただいているので、事務局としても期待しております。</p>
中野会長	<p>仕事がある方でも参加できるように、会議は平日なら夜、週末に開催するよう、募集要項にも工夫をしています。</p> <p>では、星野委員お願いします。</p>
星野委員	<p>星野と申します。iビルにあります一宮市市民活動支援センターをお預かりしている立場で、統括マネージャーとして今回参加させていただいております。30年程活動しております。先般、連休中に杜の宮市を皆さまのご協力で開催させていただきました。ありがとうございました。</p> <p>市民活動支援センターにおりますと、いろいろな方がいらっしゃいます。ソーシャル・社会的な部分とビジネス・商売の両方を考えている、若い学生のような方も随分増えてきました。そういう方々を100年に取り込んでいけたらなと思いますし、行政・ビジネスセクター・市民・団体というようなところの100年の輪で一宮の魅力を全国・全世界に見せつけて行きたい。それが子ども達の資源になれば、と思っております。</p> <p>目指すところは100年を超えて138年を目指す。そんな計画を長期の視点と短期の視点で考えていければと思います。皆さんに色々なことを教えていただきながら、協力していけたらと思っております。よろしくお願いします。</p>
中野会長	<p>眞野委員、お願いします。</p>
眞野委員	<p>眞野と申します。私どもの青年会議所も、2021年に70周年を迎えますので、2年後に向けて、記念式典や記念事業を考えております。私どもは単年度制で、私の任期は12月までです。恐らく、この実行委員会には3人目くらいの理事長が関わっていくことになると思いますので、しっかりと引継ぎをしていきたいと思っております。</p> <p>我々は40歳で卒業する団体ですので、若者代表という立場で意見を言わせていただけたらなと思います。正直、前に飾ってある写真ですが、私は昭和54年生まれなので、ピンと来ないのです。100周年記念事業があまりにも昔を語るようなことだと、それはどうかと思っています。どこに行っても、「一宮市さん、昔はこうだったんだよ。」って聞きますが、できれば未来志向の事業なり、未来に向かってという方向のものを打ち出していただかないと、と思っております。どの世代をターゲ</p>

	<p>ットにするのかという中で、若者世代が置いてきぼり、無関心になってしまわないよう、その辺りも期待しております。よろしく願いいたします。</p>
<p>中野会長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。 森委員、お願いいたします。</p>
<p>森委員</p>	<p>町会長連区代表者連絡協議会会長の森と申します。今期から会長になりました。先日も市長に話しましたが、一宮を認識してもらうのがなくなった。競輪場もなくなってしまった。競輪場があると「今日は競輪がどこそこありますよ。」と全国に向けて発信できる。そういったものがなくなるのは残念です。今日もお見えになっているが、いち信用金庫（旧一宮信用金庫）さんも修文（旧一宮女学園）さんも、一宮の冠がついたものがなくなってしまった。それが非常に残念。一宮を発するものをぜひやっていただければと思います。連区代表者連絡協議会でもいいアイデアが出ましたら、発信したいと思います。</p>
<p>中野会長</p>	<p>吉田委員、お願いいたします。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>修文学院の理事長をしております、吉田と申します。決して一宮市に愛着がないということではございません。新たなネームで始めようということで修文学院とさせていただきました。</p> <p>この会に呼んでいただけて非常に光栄です。若い人たちの声を活かしながら一宮を創っていくという意味で声をかけてもらえたのだと思います。</p> <p>私も行政におりましたので、まちづくりと言いますと、やはり、市議会の先生方や市長が中心になって進めていらっしゃるのだと思います。これはこれで、有識者の皆様のご意見でございますので、進めていただければ良いのですが、まちに住んでいる私たち市民の声を取り入れていただけるということは、私たちにとって最大のチャンスですので、ぜひ、ご意見を言わせていただきたいと思っております。</p> <p>また、先程、中野市長のお考えで、健康というキーワード、そして市民参加、これらを一過性のものにしなないということをおっしゃいました。どちらかというと、周年事業と言いますと、何かイベントをやるということで、今まで市なり県なりがやっていくもの。と思っていたのですが、「続けてやっていくということ」を事業にされるというのは非常に素晴らしいアイデアだと思っています。そういう中で、我々が出来ることは、子ども達の意見を聞くことだと思っています。どういうまちにしたいのか、どうやってこれからも住んでいきたい一宮に</p>



	<p>するのか、という率直な声をお伝えさせていただきたいと思っています。</p> <p>また、修文学院のみならず、市内にいる大勢のお子さんの意見を取り入れられる仕組みづくりをお願いしたいと思っています。例えば、どんなまちにしたのかという作文コンクールなどが考えられると思います。これは小さなお子さんのアイデアですので、未来の国の話になってしまうかもしれませんが、だんだん大人になってくると現実的なものになってくるかもしれません。年代によっていろいろな意見があると思いますので、年代年代のアイデアも吸い上げられるような。みんなが住みよいまちづくりということを目的に、私どもも進めさせていただきたいと思っています。</p> <p>私どもの学校も2021年に80周年を迎えますので、何か協働でできることがありましたらやらせてもらいたいと考えております。人口減少が進む中で、住みたいまちであり続けられるように、市長にはリーダーシップをお願いしたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
中野会長	<p>ありがとうございます。皆さんからそれぞれご意見をいただきました。吉田委員にお伺したかったのですが、定住人口だけでなく交流人口も、と最近よく言われています。私も、一宮市に愛着を感じて来てくれるなら、もはや一宮市出身と言っても寄りかかり過ぎでもないと思っています。</p> <p>吉田委員の学校でいうと、市外から通う学生が多いですか？それとも市内からの学生が多いですか？</p>
吉田委員	<p>高校まではやはり市内からが多いです。大学になりますと、外からの学生も増えますが、やはり市内から通う方が中心です。</p>
中野会長	<p>市外から修文に通っているけど、一宮市っていいところだね。また、卒業しても一宮市で働こうかな、将来は一宮市に住もうと思ってもらえるといいですね。</p>
吉田委員	<p>まさしくそうになると、私どもも募集し易いのですが。学生たちは青春時代を魅力のあるまちで過ごしたいと思うわけですし。そういったときに一宮市が魅力あるまちであれば、住みたいまちになれば、大変素晴らしいのではないかと、常々感じております。その要素は十分にあると思っています。もう少し若い人たちの声も届くような形を作っていたらとありがたいです。</p>

中野会長	専門委員会とは別の、若者委員会でしょうか。
吉田委員	例えば、子ども議会がありますね。
中野会長	子ども議会は90周年か80周年でやっていませんでしたか？
眞野委員	70周年の時には、私も参加しました。
中野会長	随分前ですね。また、考えていきましょう。 ひとつ、実はとても大事だろうと思うのが、真清田神社さんだと思っています。やはり、一宮市というのは「尾張の国の一宮」であって、真清田神社さんとどう関わっていくかが大事だろうと思っています。政教分離がありますので。真清田神社さんとどう関わるか、ぜひ、皆さんのお知恵を拝借したいと思います。
豊島副会長	仰っていただければ、真清田神社さんは、星野さんも関わってみえるし、私も責任役員ですので。商店街にも人が流れますし、真清田神社さんと交流人口の面でも何かできればとは思っています。
中野会長	ありがとうございます。また、ご相談させていただきます。 星野委員にお尋ねしますが、杜の宮市っていうのは本当に素晴らしいと思っています。私も市民の皆さんに「もっと応援してあげて」と言われています。運営は会費で成り立っているのですか？それとも寄付ですか？
星野委員	会費制や寄付ではなく、広告料と出店料で400万くらいです。
中野会長	400万円の予算規模であれだけのものが出来るのですね。
星野委員	人の移動といいますか、交流人口の面で言うと、若い家族連れの人が随分遠くから来てくれて、「一宮って近いね」って言ってくれています。駅からまちが近いのも良いと思います。
中野会長	委員の皆さまの中で、他の委員の方のご発言にご質問等があれば、ぜひ、お願いします。いかがでしょうか。
吉田委員	市長が進めていらっしゃる木曾川のミズベリングですが、あとどれくらいかかるのでしょうか？

中野会長	2年後には、まだ遊歩道は完成しない予定です。
吉田委員	<p>木曾川というのは、一宮のひとつの財産であると思います。健康というキーワードもございましたが、一宮市は坂もなく平坦なまちです。他の都市に行くと高齢の方、家族連れの方がまちの中を散策するところをよく目にするのですが、一宮市で散策をしようとする、138タワーのところまで車で行っても駐車場が満車で入れないこともあります。歩いて、もしくは自転車でまちを動けるといような、そして、そのまちの中に地域の芸術品が展示してあったりするようなものがあると、まちを散策しながら色々な物が見られるようにすると健康にもつながるのかなと思います。水辺のところ、いつ頃完成しますか？</p>
中野会長	<p>犬山から、扶桑、江南、138タワーパークまでの十数キロはつながっています。タワーパークから北方、尾濃大橋の北側で国交省が中洲の工事を行っていますので、それが終わるまでは遊歩道が整備できません。尾西方面でも、つながっていないところもあります。一宮市が木曾川に面しているのが18キロくらいなので、全部つながれば、犬山まで42.195キロは確保できると思っています。そうなれば、いろいろな行事が実施できるのではないかと考えていますが、100周年を迎える2年後には、まだ完成しない予定です。</p>
豊島副会長	<p>整備だけでなく、いろいろな地域から足を運べるようになるので、車と自転車、両方ターミナルが必要だと思っています。</p>
中野会長	<p>あと4、5年すれば、新濃尾大橋もでき、岐阜側の玄関口もできますので、アクセスが良くなって、もっと集客が見込めると思います。</p>
北川委員	<p>5、6年前だったでしょうか。国交省と一宮市も参加されまして、沿線の河川改修のフォーラムに地元代表として参加させていただきました。そのときに申し上げましたのは、緑を求めて人が集う場所にして欲しいということです。川の中には雑木が300メートルくらい生えていて、危ない・怖い場所がありますので、きれいにして人々が集う場所にして欲しいと思っています。新濃尾大橋の完成に向けて、人が集う拠点を一体的に開発されるのは、地元として望むところです。</p>
中野会長	<p>承りました。自動運転のバスを走らせられると良いとも思っています。5G世代のデータシステムを使った公道での無人の車の自動走行実験を、2月にauさんと一緒に一宮市が全国初で実施しました。2020年の東京オリンピックには無人のバスを走らせるとの話もあり</p>

	<p>ますので、2021年のタイミングで、いろいろなものを実用化できるといいなと願って動いています。</p>
<p>眞野委員</p>	<p>5Gになると、まちは何か変わるのでしょうか。自動運転は将来的にはあると思いますが。具体的には通信網の整備とか。</p>
<p>中野会長</p>	<p>そこが今、世界が凌ぎを削っているところだと思います。まったくの私見で申し上げますと、5Gで新しく何が変わるかというと、例えば医療の世界では遠隔手術などが可能になるかもしれませんが、私たちの普段の生活で何が変わるかと言われると、なかなかすぐには思い浮かびません。</p> <p>行政の話題で言えば、例えば、選挙の投票所は、見た目では職員が投票に来た方々より多い状態です。その投票所の職員を1人かゼロにして、5Gを活用してカメラで中継するとかは可能になるかもしれませんが。要するに、人を配置しなくて良い状態にすることです。そのようなことができれば、5Gの意味があると思っています。現状は公職選挙法の関係などで、なかなかドラスティックなことは日本ではやりづらいのではないかと思います。</p>
<p>眞野委員</p>	<p>未来志向の話でいくと、どういう方向性で何を打ち出していくといいのか、我々としても気にしています。</p> <p>5Gの導入は来年からですね。</p>
<p>中野会長</p>	<p>東京オリンピックに合わせてということですけど、一宮にはauさんのネットワークセンターがあるのでいち早く整備していただけたらと思っています。</p>
<p>星野委員</p>	<p>一宮市には新しいプラットフォームみたいなものがあるといいなとずっと思っています。例えば他市であると、商工会議所さんがリーダーシップを取っているDMOだとか、まちづくり会社だとかがあると思います。人とお金が集まるセンターのような仕組みを、この100周年の事業のなかで持っていくなど、新しい仕組みを生み出す可能性というのは無いのかなと考えています。それらに対する法整備や、新しい考え方も出来てきていますので、若い人たちに仕組みを残してあげられるようなことができればと思っています。100周年を跨いで、そのようなことができたなら、夢のような考えを持っておりますので、この機会にお話させていただきました。</p>

中野会長	<p>私も問題意識はまったく同じで、例えば観光協会の会長が市長なのは、近隣では一宮市だけなのですが、DMOの設立にしても、何でも一足飛びではいけないので、コツコツやるしかないと思っています。豊島会頭にも産業や観光などで旗を振っていただいております。のこぎり屋根や体験型のコンテンツなどで、一宮市で果たして観光が根付くのか、ということが大きなテーマだと思っています。</p>
豊島副会長	<p>やり続ければ何とかかなと思っていますので、知恵を出して、おごらずやり続けることだと思います。</p>
中野会長	<p>予定していた時間が近づいて参りました。活発な意見交換をありがとうございました。今後は、皆さんになるべくご負担をかけない形でご意見を頂戴したいと思いますのでよろしくお願いいたします。 では最後、事務局からお願いします。</p>
事務局（次長）	<p>ありがとうございました。 それでは、その他として何かありますでしょうか。</p>
事務局（室長）	<p>事務局から今後のスケジュールについてお知らせします。 本日、基本方針をご承認いただきましたので、公表させていただきます。また、今後立ち上がります専門委員会にて報告をさせていただくこととなります。キャッチフレーズにつきましては、7月に市民参加のワークショップを2回行い、一宮市の歴史・文化や将来像を話し合うところから始めまして、9月に決定・公表の予定をしております。ロゴマークにつきましては、キャッチフレーズ決定後の10月から、市内・市外問わず公募を始めまして、市民の皆さまによる投票を経て、2月下旬に決定する予定でございます。 今年度行う事業につきましては、事務局から準備委員会の皆さまへ随時報告をさせていただきますが、今年度につきましては、実際にお集まりいただくことなく、すべて書面表決にてお認めいただく方向で考えております。何卒よろしくお願いいたします。 スケジュールについては以上でございます。</p>
事務局（次長）	<p>ただいまのスケジュールにつきまして、質問等がございましたら、よろしくお願いいたします。</p>
中野会長	<p>キャッチフレーズなども決定前に皆さまに状況などをご説明してください。</p>

事務局（次長）	<p><b>7. 閉会</b></p> <p>それでは、以上をもちまして「一宮市制施行 100 周年記念事業準備委員会 設立総会ならびに第 1 回会議」を閉会させていただきます。</p> <p>長時間にわたりご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。</p>
---------	--